



“えんずのわり”の流れ

えんずのわりを担うのは、月浜に住む小学2年生から中学3年生の男子のみ。その中でも、最終学年が大將（リーダー）となります。行事には女性は参加できず、岩屋にも入ることは許されません。

1/11

岩屋に集まり  
共同生活を開始。



神社にある岩屋に集まり、掃除や食事・お参りなどを子ども達だけで行います。早朝から朝食を作り、学校から帰ったら再び共同生活を送ります。

1/14

いよいよ本番。  
集落まわり。



午後7時。神社前でお参りをし、いよいよ本番が始まります。松の棒をつきながら、唱え事とともに、家々に合わせた内容の祈願の言葉を唱えます。迎え入れる家ではご祝儀などを用意し、子ども達を待ちます。



1/16

最終日～ホイホイ～  
鳥追い



タアドウガミサ  
タートー紙に  
エンドガスマサ  
蝦夷島(遠い島)へ  
ナガセ  
エーエーエー

エーエーエー  
エンズノワリ  
意地の悪い  
カアズラワツテ  
頭を割って  
トウリヨウバ  
鳥をば  
スオツケテ  
塩をつけて



岩屋と五十鈴神社(左奥)

「えんずのわり座談会」では、記録上映会・講演会・月浜住民との座談会を通して、後世にどう伝えていくかを考えます。

「えんずのわり」は、宮戸月浜地区に伝承されている小正月の鳥追い行事です。2000年以上継承され、平成18年には、国の重要無形民俗文化財に指定され、震災後も途絶えることなく続けられてきました。  
集落の子ども達が、1月11日から16日まで岩屋にこもって共同生活を送り、14日夜に松の棒を持って集落内の家々をまわります。悪い鳥を追い払う唱え言と、一年間の無病息災・豊漁豊作を祈願します。

知っていますか？  
えんずのわり

採用情報 平成29年度 展示解説員募集のお知らせ

奥松島縄文村歴史資料館では、資料館の受付案内・展示の解説、体験インストラクター等を行う展示解説員を募集しています。

■勤務条件

- ・報酬 月額 147,000 円 (社会保険・雇用保険あり)
- ・任用期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日(更新する場合あり)
- ・勤務日数 週5日 35時間
- ・勤務時間 8:30～17:15の7時間(シフト制)※土日祝日の勤務あり

■応募資格

- ・短大卒以上の学歴を有する方(学芸員資格を有することが望ましい)
- ・心身ともに健康でパソコン操作ができる方
- ・郷土の自然、歴史、美術工芸等に関心を有する方

■募集期間 3月5日(日)まで

- ・履歴書(市販用紙に記入し、写真貼付)を奥松島縄文村歴史資料館へ持参(9～17時まで・水曜日は休館)もしくは郵送にてお申し込み下さい。
- ・後日、採用試験(作文・面接)があります。

えんずのわり座談会

【日時】 3月5日(日)13:00～15:00  
【場所】 奥松島縄文村歴史資料館  
【共催】 えんずのわり保存会

【プログラム】

- ・上映会「えんずのわり-平成28年度映像記録-」
- ・講演「正月行事と子どもの役割」  
川島秀一氏(東北大学災害科学国際研究所教授)
- ・座談会「未来につなげよう月浜のえんずのわり」  
川島秀一氏、  
小谷竜介氏(東北歴史博物館副主任研究員)、  
月浜地区の皆さん

座談会お申込み・採用お問い合わせは…  
TEL 0225-88-3927(水曜休館)